

国際環境教育公開研究会 2003

1 研究主題

『子どもの感性と知性を磨く， 地球探索型環境教育の創造』

～ 地域・大学・専門機関との連携による環境学習プログラムの開発と実践を通して ～

2 期 日 平成15年2月20日(木)

3 会 場 気仙沼市立面瀬小学校

4 主 催 気仙沼市立面瀬小学校 気仙沼市教育委員会

5 共 催 宮城教育大学
日米教育委員会フルブライトメモリアル基金(FMF)

6 特別協力 気仙沼ユネスコ協会 志津川町自然環境活用センター

7 目 的

21世紀を迎え、世界のグローバル化が急激に進む今日、我が国の社会もまた、国際化、情報化、科学技術の発展等、様々な面で大きな変化に遭遇しています。特に、「環境の世紀」と言われるように国境を越えて深刻化する環境問題への関心の高まりは大きく、地域に根ざしながらも地球的視野に立ち、世界と交流しながら探求していく新しい形の国際的な環境教育、すなわち『地球探索型環境教育』の構築が求められています。

一方、教育現場においては、この急激な時代の変化に対応し、21世紀を主体的に生きる子どもたちを育成するために、「生きる力」を培うことをめざし、今年度から新教育課程が施行されました。この改革を実現し、成果を上げるためには、従来の学校の枠にとらわれず、地域や大学等の専門機関との連携を図りながら、より広範な協力体制のもとで教育活動を進めることが不可欠です。

とりわけ、「環境教育」や「国際理解教育」などのように、学校がそれぞれの創意工夫を生かし、特色ある教育活動を創造・実現していく過程においては、フィールドである地域と連携し、大学など専門機関の持つ専門知識や技能、情報、研究成果などを積極的に学習や指導に生かし、より深まりと広がりのある学習を展開していく必要があると考えます。

面瀬小学校は、今年度、日米教育委員会フルブライトメモリアル基金の助成のもと、米国ウィスコンシン州リンカーン小学校をパートナー校として日米共同の地球探索型環境学習プログラムの開発に取り組んでいます。この研究の推進にあたっては、プログラムの開発や実践において、地域や宮城教育大学環境教育実践研究センターなどの専門機関に参画して頂き、専門的立場から適切な助言・支援を受けながら行ってきました。

本研究会は、この面瀬小学校の国際的な環境教育の実践の歩みを紹介するとともに、各専門家や地域の方々のご助言を頂きながら、みなさんで新しい時代の環境教育の方向性を模索しようとするものです。

7, 日 程

8:15～8:45	8:45～9:30		9:45～10:30		10:45～12:20
受 付	【第1部】 日米子ども 地球フォーラム (国際テレビ会議)	移動 休憩	【第2部】 授業実践公開 (各学年プロジェクト)	移動 休憩	【第3部】 国際環境教育 フォーラム (講演・パネルディスカッション)

8 内容(プログラム)

【第1部】『日米子ども地球フォーラム』(オンラインテレビ会議)8:45～9:30(45分)

テ ー マ	参加学年	活 動 内 容	活動場所
共に見つめよう！ 未来の面瀬， 未来のマディソン， 未来の地球！』	6年生 及び 全学年児童	アメリカ合衆国・ウィスコンシン州・リンカーン小学校とのインターネットによるオンライン・テレビ会議を開催し，6年生のプロジェクトを中心に全校で交流する。 (日米教育委員会もオンラインで参加)	体育館 または 放送室 (校内放送)

【第2部】授業実践公開 9:45～10:30 (45分)

学年・組	教科等	プロジェクト名	単 元 名	授業者及び協力者	場所
1年 1組	生活科	自然と祭り	教えてあげよう！ アメリカのお祭り	尾形順子 田中礼子	1年 1組
1年 2組	英語活動	Nature & Festival Project	教えてあげよう！ 英語の歌 (TT)	村上ゆうこ 伊藤千津子 Louise Boddy (ALT)	1年 2組
2年 合同	生活科	野菜栽培 Vegetable Cultivation Project	世界の野菜を 育てよう！～変身， 漬け物にな～れ	菅原理恵・谷山朋子 尾形礼子 佐々木アメリカ	2年 1組
3年 合同	総合的な 学習	環境サイバ-マップ Cyber-Map Project	ぼくらの面瀬の宝物 ～環境編～	菅原 琴 川村 慎	図書室
4年 合同	総合的な 学習	面瀬サクキアリ Sanctuary Center Project	命を育む面瀬川』 共に守ろう，学ぼう， 育てよう！	千葉恵子・阿部正人 見上一幸(宮教大) 高取知男(科学館)	図工室
5年 合同	総合的な 学習	海のミュージアム Sea Museum Project	豊かなる海』 ～海のフォーラム～ 2003	小野寺文明・藤田佳代 佐々木寿美・北かつ 横濱康継(活用センター)	音楽室
6年 合同	総合的な 学習	環境未来都市 Waterfront Future City Project	僕らは地球人！』 発信しよう！ 未来都市「面瀬」	小野寺千恵子・畠山友一 藤田あき子・建築士会 小金澤孝昭(宮教大) 佐藤春子(コネスコ)	体育館

第3部】国際環境教育フォーラム 10:45～12:20(95分) 体育館

(1) 開会のあいさつ	面瀬小学校	校長	菊地 敏郎
(2) 祝辞	気仙沼市	市長	鈴木 昇 様
	宮城教育大学	学長	横須賀 薫 様
(3) フォーラム	地域 専門機関との連携によって環境教育 ,学校教育はどう変わるか?』		
	コーディネーター	宮城教育大学 教授	小金澤 孝昭 様
基調講演	「大学(専門機関)との連携による,新たな国際環境教育の可能性」		
	講師	宮城教育大学環境教育実践研究センター長 教授	見上 一幸 様
研究実践の発表	「面瀬小のアメリカとの交流による地球探索型環境学習の展開」		
	面瀬小学校 研究主任	教諭	及川 幸彦
パネルディスカッション(指導講評含)			
パネリスト	志津川町自然環境活用センター(元筑波大教授) 所長	横濱 康継 様	
	気仙沼ユネスコ協会(元国内委員) 会長	佐藤 春子 様	
	宮城教育大学客員助教授(仙台市科学館主幹)	高取 知男 様	
	面瀬小学校 4年生担任	教諭	千葉 恵子
総括	コーディネーター(小金澤教授)		
(4) 閉会のあいさつ	気仙沼市教育委員会	教育長	阿部 弘康

4 参加申し込みについて

(1) 申し込み期限 平成 15年 2月 7日 (金)

(2) 申し込み方法

下記の参加申込書をコピーして記入し,FAXまたは郵送でお送りください。

【申込先】〒988-0133 宮城県気仙沼市字松崎下赤田58 TEL FAX 0226-22-7800
気仙沼市立面瀬小学校 教頭 高橋 隆子 宛

Eメールでの申し込みも受け付けます。必要事項を記入の上,下記のアドレスに送信してください。

Eメールアドレス omo-s14@k-macs.ne.jp

(3) 参加費 無料

5 その他

(1) 駐車場は校庭を開放します。雨天の場合は,できる限り相乗りでご来校ください。

(2) 受付場所は校舎東側の職員玄関(来賓)と,校舎西側の体育館入り口(一般参加者)となっています。

(3) 交通経路は左地図をご参照ください。

<3年 サイバ-マッププロジェクト外から一部抜粋>

(4) 実践の概要は次のサイトでもご覧になれます。

<http://omose.fmfntp.net/>

<http://www.k-macs.ne.jp/omos14/>

国際環境教育公開研究会参加申込書

【申込先】〒988-0133 宮城県気仙沼市字松崎下赤田 58 TEL・FAX 0226 - 22 - 7800
 気仙沼市立面瀬小学校 教頭 高橋 隆子 宛

【送信元】

所属名			電話番号	
所属住所				
職・氏名	職 名	氏 名	職 名	氏 名